

議事要旨

会議の名称	コミュニティ交通勉強会
開催日時	令和4年11月9日（水） 午前の会 10:00～11:30 午後の会 14:00～15:45
参加者	午前の会 13名 午後の会 11名
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 砧モデル地区 取組み経過概要 2 砧モデル地区（デマンド型交通）需要予測アンケート結果 3 砧モデル地区の実証運行形態と公共交通不便地域対策の今後の取組み 4 デマンド型交通の利用イメージ
議事要旨	<p>※主なご意見・ご質問に対する回答を記載</p> <p>質問：今後はデマンド型で実施していくことを決めたのか。定時定路線型への見直しはあるのか。</p> <p>回答：定時定路線型には、わかりやすさなどのメリットもあることは認識しているが、運行ルート上に目的地がないという声や乗りこぼしの発生に関する懸念などがあった。高齢者のフレイル予防や地元企業の支援、地域コミュニティの核となる施設へつなげることによる外出促進効果など、総合的に鑑み、まずはデマンド型で実証運行をしていくことを決めた。コミュニティ交通の有効性を確認するための実証運行であり、目標数値を設定し、需要がなく改善の見通しが見込めない場合は、抜本見直しも考えている。</p> <p>質問：運行区域内に乗降地点が密集している場所もあれば、設置されていない場所もあるが、なぜか。また、川を渡ればホームセンターやスーパーがあり、運行区域を広げるとより便利だと思う。</p> <p>回答：定時定路線型で検討してきた候補地も踏まえ、34か所の候補地を示している。道路上に乗降地点を置く場合、道路交通法を順守する必要があり、設置できる場所も限られる。関東中央病院を含め、利用意向のある場所は運行区域外にもあるが、まずは車両一台で回せる範囲で実証運行を行う。利便性を損なわず運行することが前提だが、増やせそうであれば、乗降地点の増設も検討していきたい。</p> <p>質問：子どもの運賃はいくらか。また70歳以上の見分け方はどうするのか。</p> <p>回答：子どもの運賃は路線バスと同様に、未就学児は無料、小学生は半額で考えている。70歳以上の見分け方については、証明書の発行等、利用者と事業者双方に負担とならないような対応を運行事業者等と検討していきたい。</p>

質問：週3日ではなく、週5日・全日運行するということは考えていないのか。

回答：公費を投入する以上、一定程度採算性を考慮する必要があると考えている。運賃収入は3割程度の見込みであり、運行曜日を増やしたい気持ちはあるものの、採算性が落ちるため、まずは週3日で実証運行を行う。運行曜日はアンケートの結果を考慮し、月水金とした。実証運行中もアンケートを実施するため、利用者の需要を把握し、採算性等を考慮したうえで、運行曜日や日数などを変更する可能性もあり得る。

質問：宇奈根・喜多見のデマンド型交通ではシルバーパスが使えるのに、砧地区のコミュニティ交通では使えないのは不公平感が出るのではないか。

回答：宇奈根・喜多見地区のデマンド型交通は、東急バスの自主運行のため、区から運行に関する公費支援は受けていない。一方、砧モデル地区の運行は、区が運行経費を公費で支援する仕組みである。シルバーパスの適用にあたっては、東京都の税金による支援が行われているため、砧モデル地区は、二重に公費支援する仕組みとなることから、シルバーパスは適用されないものと認識している。ただし、高齢者をメインターゲットにしていることもあり、70歳以上の方は、区独自で300円ではなく100円とし、利用促進を図る。

意見：広告や宣伝などの運賃収入以外の確保も考えていってほしい。

回答：支援の在り方は色々あると思っている。運賃外収入の確保は重要と考えており、地元協議会とも連携して検討していきたい。

意見：まずは皆さまに乗ってもらうことが重要である。地域の方々への幅広い周知や、使い方講習会を実施するなどしてほしい。

回答：実証運行に向け、区民周知を進めていく。使い方についても何かしらの形で周知を図りたいと考えている。